

今週の国内株式市場の下落について 米国の利上げ前倒し観測と新型コロナ変異株を警戒

2021年11月26日

中長期の懸念薄いが、短期的には不安定さが続く可能性も

今週の国内株式市場は、24日（水）と26日（金）に大きく下落しました。週間でみると日経平均株価が-3.34%となるなど、9月最終週（9/27-10/1）以来の大幅な下落でした。

24日の下落は、米国の利上げ前倒し観測が主な要因とみられます。このところFRB（米国連邦準備制度理事会）高官はインフレへの懸念を強めており、量的金融緩和縮小のペースアップを容認する発言が相次いでいます。量的金融緩和の早期終了は、その後の利上げ開始の前倒しにつながると考えられます。そのため金融政策の影響を受けやすい米2年国債の利回りは、足元で上昇しています。但し、利上げが前倒しされれば、インフレや景気過熱が早めに抑制されることになるため、先行きを織り込む米10年国債利回りは比較的安定しています。株式市場は米10年国債と同じく長めの見通しが重要であるため、米10年国債利回りが安定しているのであれば、利上げ前倒し観測による株安は一時的と想定されます。

26日の下落は、南アフリカで新型コロナウイルスの新たな変異株が発見されたとの報道が主な要因とみられます。折しも欧州で感染拡大が再燃し、経済活動への悪影響が懸念され始めていたため、報道がより嫌気されたようです。数カ月単位で見れば、ワクチンの追加接種や治療薬開発の進展で感染拡大は落ち着くとみられますが、短期的には市場参加者の警戒感が高まった状態が続く可能性もありそうです。

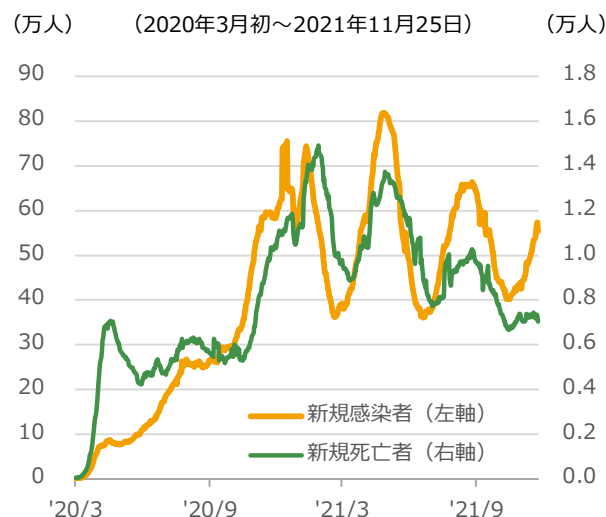
日経平均株価と米国債利回り



※米国債利回りは11月24日まで

(出所) ブルームバーグ

世界の新型コロナウイルス感染状況



※いずれも7日移動平均

(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management